

◇みんなで遊ぼう！ひょうごレゴ®展 神剛司(地域P&C第3期生)……1頁

◇奈良県サクラ見守り隊ボランティア活動経過報告 豊原雅裕(地域P&C第8期生)……2頁

◇「なんでかわかるか？」～信頼の引き継ぎ～ 山中淳史(地域P&C第15期生)……4頁

みんなで遊ぼう！ひょうごレゴ®展

神 剛司(地域P&C第3期生)

縁あって、私は、昨年7月から、兵庫県「兵庫津(ひょうごのつ)ミュージアム」の学芸員として勤務しています。この博物館の運営受託会社の外部スタッフという立場です。毎日ではありませんが、どうしても利用者が多い土日の出勤が多くなり、最近、長年関わってきたP&C養成塾の運営に参加しづらい状況が続く、若林塾長をはじめメンバーにご迷惑をおかけして心苦しいです。



私の主な役割は、展示ディレクターです。それもあって、この度、企画展「みんなで遊ぼう！ひょうごレゴ®展」の企画運営を担当しました。スタッフが少ないこともあり、事業主体である兵庫県への企画説明、ブロック玩具の会社との調整、安全な動線計画づくり、展示設計、展示会社への発注・施工監理、運営、ワークショップ企画、ラジオ広報、出品協力者への依頼、陳列、先品の撤収など、ほとんどすべてに関わりました。その甲斐あってか、7月15日から10月15日の80日間の会期中の利用者は、何と5万人を超えました。当初の目標は2万人だったので、関係者の驚きの表情を想像していただけるのではないのでしょうか。

レゴブロックという玩具を通じて、家族連れなど多くの利用者を誘客でき、何より笑顔で楽しんでもらえたことは、とても良かったと思います。

レゴ作品をじっと鑑賞している人々はもちろんのこと、作品ができて上がるまでの早回し映像を子どもが床に座ってじっと見入る姿や、孫とお祖父さんが肩を並べて仲良く作品をつくる光景、順番待ちができるほど大勢の方々がレゴブロックづくりを楽しんでいる様子を見ていて、我ながら良い仕事ができただかなと何度も思わず涙ぐみそうになりました。地域づくりでもこんな風に世代を超えて大勢が楽しめる場ができれば良いなと思います。

その一方で、運営側にはかなりの負担をかけてしまいました。エレベータに乗り合わせたある運営メンバーから『もう勘弁してください』という泣きごとを聞かされたこともありました。また利用者が多いということは、同時に安全に運営するための体制強化も必要となり、人員整理のためのアルバイトの件数が増え、収支バランスの難しさを感じました。まだまだ課題はありますが、今後分析して、次は、少しでも良くしていきたいです。

企画展の終盤には、近くにお住いの村田理事長に見学に来ていただき、その後で神戸三宮の地下街の居酒屋で一献できたことは嬉しかったです。いつもと違ってシンデレラタイムの19時を過ぎても「ここから歩いてすぐ

よ」とおっしゃって、理事長がのんびり呑んでいる様子はなぜか面白かったです。

最後になりますが、早起きをして自宅から片道2時間かかる通勤は正直つらいのですが、『(館長から)手伝ってください』とお声がけをさせていただける間は、頑張っけて続けていきたいです。また、その成果から何か地域づくりに活かせるものを探していきたいと考えています。

奈良県サクラ見守り隊ボランティア活動経過報告 「郡山城址サクラ見守り隊」活動中

豊原 雅裕(地域P&C 第8期生)

1. 奈良県には「日本さくら名所百選」が3か所も

奈良県の地域資源のひとつに「桜」があり、県内には、日本さくら名所百選に選ばれている有名な「吉野山」「奈良公園」「郡山城跡」があります。

意外と知られていないのですが、サクラは植物学上、バラ科の樹木です。他にモモ、ウメなどがこれに属しています。郡山城跡には、以前から800本近く(現在本数調査中)の桜の木が植えられていると言われ、豊臣秀長が多武峰から持ち帰って植樹したと言われています。お城まつりには多くの人が訪れ、桜見物が大和郡山市の名物イベントになっています。

2. クビアカツヤカミキリの被害が拡大！

ところが、特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」(右図/奈良県資料)の被害が全国的に拡がり、奈良県下にもその被害(サクラ・モモ等)が年々拡大してきているのです。クビアカツヤカミキリの幼虫は、木の内部を食い荒らし、樹木を枯らしてしまう厄介な虫なのです。

クビアカツヤカミキリの移動の詳細はまだ分かっていないようですが、その行動は狭いのですが、車などに付着して広範囲に移動しているとも言われています。桜並木が被害に遭い、全てを伐採した桜の名所も多く見られています。

県下においても被害が北上し、大和郡山市でも、今年度51件(奈良県景観・自然環境課資料)の被害報告が出されています。

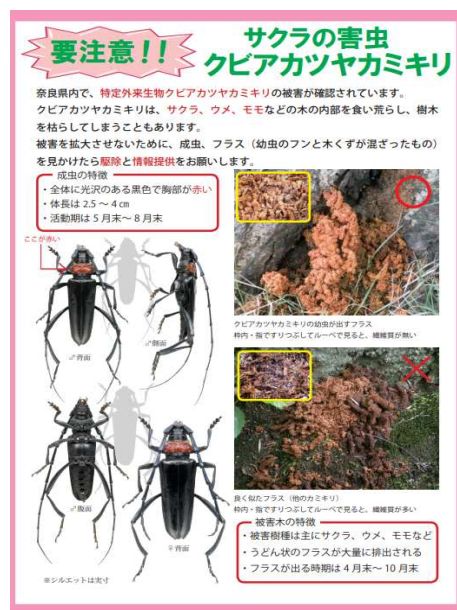
3. 被害抑制には、多くの市民の目が必要に！

奈良県下では、被害調査のために、主要箇所には200本の調査木を設定し調査を行っています。2022年度から「サクラ見守り隊」の募集が始まり119名が参加しました。個人加入のためどの地域に何人かは不明ですが、講習受講・登録の後、大和郡山では有志4名を中心



に、8月から郡山城跡の見守りスタートさせました。広範囲・本数が多いため、ゾーン分けでの見守り活動(1日当たり約80~100本)を実施、市民参加のお城清掃時には、市長から、注意喚起を呼びかけてもらいました。昨年度、被害木は見当たりま

せんでした。2023年度は、開始が早まり7月から、郡山城址サクラ見守り隊8名体制でスタートし、酷暑の中、9月末まで見守り活動を継続実施しました。



4. 被害は徐々に拡大！危機感持って活動を広げる必要が！

9月段階で市内51箇所での被害報告の発表や、奈良市内での小学生による発見の報道を受け、郡山城址以外での情報収集を行った結果、郡山城址周辺の小学校・公園の桜の木が6月～7月にクビアカツヤカミキリの成虫・フラスが出ていたとの報が寄せられました。

また、県の防除講習では、気温が下がり成虫活動がなくなった時期でも、フラスが見つかった被害木の中には多くの幼虫が存在することも分かり、次年度以降の繁殖がおおいに懸念されます。郡山城址に限定せずに見守りの広がりが必要なことが確認されました。なお、郡山高校を訪問時、生徒1名が県見守り隊に登録されていることがわかりました。

5. 今後「桜の花も、幹の下も、木肌も 多くの人が桜を見守る」活動を！

サクラが大切な地域資源であることの啓発活動が必要となっています。

◇開花時の問題ではなく、年間を通じた問題であることの啓発活動

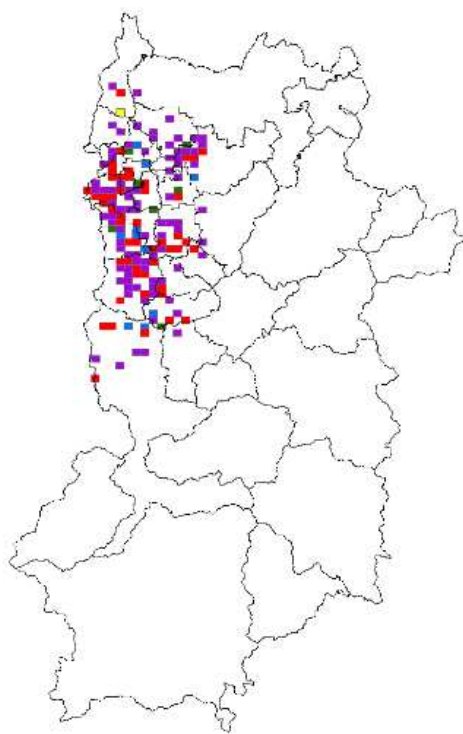
◇サクラ等の樹木の一元実態調査(管理区分・本数・メンテナンス状況)

サクラ関連部署・樹木医・業者・各種団体の連携(情報共有ほか)

◇市内他地域での発生は必ず郡山城址に影響波及する危機意識の喚起

郡山城址の桜は、国史跡・県・市・柳沢文庫・神社など広範囲

◇学校関係者及び郡山城址、公園を清掃を担当されている方への啓発



2023年9月被害状況(県景観・自然環境課)

市町村	被害木数					合計数
	R1	R2	R3	R4	R5	
1 奈良市	0	0	0	0	2	2
2 大和高田市	0	8	2	0	1	11
3 大和郡山市	0	1	0	0	51	52
4 天理市	0	2	9	20	27	58
5 橿原市	0	0	1	32	13	46
6 五條市	0	0	8	6	10	24
7 御所市	1	1	32	303	86	423
8 生駒市	2	0	0	1	5	8
9 香芝市	0	4	19	129	32	184
10 葛城市	0	10	22	31	41	104
11 平群町	0	0	0	15	4	19
12 三郷町	0	0	0	2	13	15
13 斑鳩町	0	22	1	0	5	28
14 三宅町	0	0	0	0	3	3
15 田原本町	0	5	0	20	5	30
16 高取町	0	0	0	1	21	22
17 明日香村	0	0	0	25	0	25
18 上牧町	0	0	0	10	4	14
19 王寺町	0	1	0	6	1	8
20 広陵町	0	0	1	12	22	35
21 河合町	0	0	4	6	0	10
22 広陵町、河合町	0	9	0	5	0	14
23 吉野町	0	0	0	0	1	1
24 大淀町	0	6	1	3	6	16
25 下市町	0	0	0	0	1	1
計	3	69	100	627	354	1153

※サクラ見守り隊ボランティア活動(2022年度)

活動期間 2022年7月20日～12月16日

参加者 119名

報告書提出数 205件(うち62件がクビアカツヤカミキリ被害と確認)

被害木確認数 172本以上

成虫防除 6匹

「なんでかわかるか？」～信頼の引き継ぎ～

山中淳史(地域P&C第15期生)

この養成塾に入るきっかけは、若林塾長からのお声かけでした。元々は、私に塾生を紹介してほしいと依頼されたのですが、私自身が参加することをお伝えしました。奈良には「ええもん」が数多く残されています。神社仏閣、歴史的伝統行事など、いにしえから大切に受け継がれています。しかし、一口に受け継ぐといっても並大抵のことではありません。地域づくりを受け継いでいくためには何が必要か？ そのヒントを見つけるために入塾しました。

その中で衝撃を受けたのは、若林さんのこの言葉です。「なんでかわかるか」。ことあるごとに繰り返され、言われるたびに塾生は縮みあがります。

例えば、ざぶとんの正面と上下の見分け方。8月の炎天下での阿伽陀屋若林亭の庭での草むしりの意味。地元のイベントでは本番以上に準備・片付けを頑張らんとあかん。今井町に宿泊施設がない理由、などたくさんの「なんでかわかるか」を言われました。

でも、その一つひとつに深い意味があります。ざぶとんの正面や上下を揃えてあることで、主人の心遣いに気づきます。草むしりもお祭りも準備と片付けなどをしっかり手伝えることで信頼されます。例えば、イベントの時にお寺の境内をお借りできるのは、日頃からお寺のお手伝いしていることでお寺様に信頼されているからなのです。今井町に宿泊施設がない理由は、昔から家でお泊まりいただいているからで、これはお客様を信頼していないとできません。

人の繋がりができるのも、大切なものが守り続けられているのも、全て信頼を得て支える人の輪ができたからだ気づかされました。これから地域づくりを志す方は、ぜひ入塾してください。必ず得るものがあることを保証します。

最後になりましたが、講師の皆さまや同期生など大変お世話になりました。厚くお礼を申し上げます。